



川の組

神原キク

二八

入園以來四十餘日、漸く幼稚園でも家庭と同じ様に遠慮なく遊べるやうになつた所です。初め頃は子供ながら新世界に對する緊張、氣怩れ、氣兼ねがあつたのでせう。これでは餘り世話がかゝらな過ぎる、と存じましたものですが

どうして／＼この頃は大した激刺さです、そうして物騒なことです。未だ協同生活に慣染みませんし、お友達との遊びが何より楽しいものといふまでの経験には達して居りませんから、意のまゝならね時は實に手早い直接行動と號泣です。こゝ一學期の間は、斯んな極く審的時代かと思ひます。非常に個別的で衝動的で、協同の作業やおそびは計畫するに甚だむづかしいと思ひます。それで、保育の「ねらひ」としては先づ個別的な、自然的なあそびを十分にと、のへておいて然る後段々と友と偕に遊ぶ愉快を味はせる方法を取りたいと存じます。初夏のよき季節なる故に戸外に出でよ！のみならず、此の目的から、戸外は最も満足な

遊戯場であります。同時に、遊具は潤澤に具へておくことが必要です。

今週の計畫

斯様な考の下に、個別的に遊べてしかも一緒になるともつと面白くなる好ましい遊具はないものかと考へましたのが、先週以來の計畫、毎の空箱利用の汽車と、まゝごと遊びの諸式を調へる事です。汽車は一箱宛持たせます。それを引きまわしても遊べるし、數人寄れば連結列車になつて愉快でせう。その間に積木を並べてレールを架けることを考へつくかも知れません。鐵橋をこさへる子もありません。併しそんなに遊びを構成出来ないかも知れません。ならば私共で一緒に作り出させよう。その内、積木でなく木で停車場や鐵橋、トンネル、ふみ切りを作つてやりたいと思つて居ります。其れ迄は今週中に行かないかも知れませんが。まゝごと遊びにお人形が入るとどんなに情味やはら

か味の加はることかと思はれますので、ローズ色のベビー服を着た可愛らしいマ、人形を土曜日に買ひました。お人形に附随した諸道具を作ることも一仕事ありさうです。さし當りベッドやふとんを作ります。

これは計畫し兼ねることですけれども、今週は何とかして日にお辨當を食べさせたい。幼稚園ではお辨當を食べないと今迄頑張り通して来た子供です。それから附添から離れぎはの悪い三四人のくせも直し度い。時日の問題かも知れませんが、實習生の居ない日この人達に泣かれては困つて仕舞ひます。

五月二十三日（月）

降り出しさうな不安な朝空、十一日に晴いた朝顔が七ツ若芽を出した。窓棚から机上に下しておく。莓の空箱に木車をつけたトロツコ汽車を、車庫なる室の隅から出して置く。八時頃に登園するのはA、早速列車に仕立て、引き廻して室内をかける。（紐で引き廻す様になつて居る、次々に来る男兒は大抵これに加つて遊ぶ、女兒はお人形を代り合つてお守りして居る。室隅には一昨土曜日にレールや鐵橋に用ひた床上積木があるけれどもこれを取出して汽車のレ

ール建設に當らうとする着は居ない。只列車と共に走る。従つて一つの列車が争の種になり出した。其處で、降り出す迄は初夏の朝空の下で遊ばせたくもあれば外へ。お人形とまゝごとの臺所を持ち出し、花壇の方でゴザを敷いて先生がお母様、T・M・Jなど男兒がコックさんで、女の子達が人形を抱つこしてお客様。思ひがけない役割である。

おはなし、室内に歸つて。「幼兒のたのしむ話」中の、「指太郎一先達での「富子さんの風船」程には興がらず。

剪紙。長方形に剪つて貼りクレオンで車輪を描く簡単な汽車、（汽關車はお釜があるだけ違つてゐる）先生の手本を見せて剪らせる。鉄は殆んど使ひこなせる人達だけれども長方形に、しかも揃つた形、大きさ、といふのはなかくむつかしい。一連の汽車が出来上つた人へ「あなたの汽車はどこを通つて居ますの？」と尋ねて自由にバツクを描かせる。これは男兒が得意のものだけにドシ／＼いゝバツクが描ける、女兒は先生と同じに出来るのが多い。

食後。砂場で大勢が團子屋さんを開店してゐる傍で積木片の電車を、チン／＼と押して走る男兒あり。衝突も小ぜり合ひもなく没頭した姿！これは今朝の汽車では得られ

ぬ境地。積木電車、無軌道電車なるかなと思つた。

子供の歸つたあと、お人形の寝臺を作る。

五月二十四日（火）

久々ぶりの快晴。何をおいても今日は外遊びだ。みんなく連れ出す。男兒の多數は今日も庭中を無軌道電車に餘念なし。其の他は又いつもあかす面白いお團子作り。

室にこもるのは勿體ない。豫定を變更して椅子だけ庭に持出し丁度盛りのヒナゲシを寫生する。花の色のクレオンはどれ、葉っぱはどれ、と取出させて描き始めても、單色で描き上つて居るのがある。形については言はずにおいたが案外スラ／＼描いて居る。只一人 何うやつて描くの、とちつとも描き出さぬ女兒があつた。此子には描いて見せた。遊戯 外で遊び過ぎると遊戯の時にふさげる事がある。今日がそれ。入園當初時代にはピアノを弾き乍ら遊戯をさせるのには困難を感じる。窮せし先生、ふさげ者二人を列外に出して見させておいた。大きい池の組の子、途中に見物に來たから丁度都合よしと機關車(リード役)になつていたとき「汽車」を新しく教へた。

食後人形のベットを作りあげる。傍で出來上りを待つて

わたゝ子N子「今度はお蒲團作つて下さいな」と言つた。

歸宅したら國元から朝顔の種が來て居た。これは昨夏非常に見事な咲きぶりを目撃したので、種を頼んであつたわけ。少しおそくなつたけれども、これを今年も亦みんなに一鉢宛作らせませう。花の種類名を一包づゝ丁寧にかいて下すつてある。一種類宛作らせませう。

五月二十五日（水）

汽車を隅に仕舞ひ込み金魚鉢と朝顔を机の中央に出しておくと今朝はそれを眺めに寄つて來る。汽車のことは忘れなやうに臺所を持ち出してまゝごとをして居る。

六七入になつた所で塗繪をはじめた。「緋鯉」。この頁は線外にはみ出ぬやうに、といふ塗方の上に池の水を薄く塗る練習に重きをおく。うすく塗る手の調節は難いものと見え、これで二度目だが、うまく出來ない。塗繪は大方の子供が好きで手の運びも上手。KとM子は「もうくたびれたからいや」と一頁が塗りきれない。二人とも五歳。Kの方は鉛筆が、確とは握れず手が誠にぎごちない。未だ錯畫時代にあるKにはゆる／＼仕事を進めさせて行く積り。手指の細い運動の前に大いなる筋の機能が統整されて來なければ

ばならない子だから。

こゝへHさんが登園。大變御機嫌斜でちいやさんにくつゝいて居る。私が抱き取つても容易に泣き止まないのので仕事はお仕舞にして外に遊びに出る。

今日は朝顔の種類、一鉢づつ持つて大きな石で孔をふさぎ土一ぱいをつめる。指でくぼみをつけた所に種を蒔き、名と花の種類をカタカナ書きした札を貼つて水をやる。これを銘々自分でしたのが嬉しさう。

唱歌シャボン玉 室に入つて新しい唱歌を歌ふ。蓄音機にあるからとて知つて居るのが多い。

食後の片付けをして居ると今朝塗繪をしなかつたO子、「今日は何にもしないの」と聞きに來た仕事を樂しみにして居る子。

Mがおへやで「おしっこ」をした。偶然にもれたのではない。これで三度目。注意をしたら、今日は、しよげてゐた。分つて來たんぢやないかしら。小さい方の組としても餘り前例が無い。入園迄家庭では室内で便器を使つて居たといふ。

お歸り後、まゝごとのテーブルやベット、臺所に、薄緑の

マンノを塗つた。ふとんを縫つてベットに敷き込人形を寝かせておいた。明日はよろこぶ事だらうと、思ひながら。

五月二十六日（木）

十時近く迄外で遊ぶ。Kちゃんが久しぶりに出て來た。

珍らしい物は何でも「ボーヤのよー」で獨占したがるこの子室の隅から汽車を見つけて外へ引出す。女の子は朝來れば手をつないで遊びに出る。その仲間について出て「さくら〜」しませうと言へば大よろこび。引きとめられて、「どちらがお好き」と聞かれると嬉しさうにアイスクリームだの、バナナと答へる。決して先生が居る方に來ようとはしない。もう少し大きくなると強さうな方の組になれるやうに答へるけれど。その後につゞくオーエスの引き合ひが又大變にうれしい。五六人ではじめたグループが十三四人に擴がつた。男の子で此の仲間に入らない砂場で汽車ごつこをしてゐた連中も自分の遊びを忘れて眺めて居る。三十分以上も續いたか！ 切り上げて室に連れて入る。

ぬりゑと畫 昨日の「鯉」のぬりゑを残りの子供に、その他は兩側のボールドに好きな畫を描かせる。ぬりゑは一人でよく手本を見ながら塗り得る。紫と青の色を（池の水）間

違へて塗りかゝつたのが四五人も居た。この色の間違は他の組でも経験した。ボールドにも帳面と同じ様な小さい繪をかきがちである、こゝでは碗一ぱいにふるつて大きい太いものが描けるように注意して居る。今日のやうに人数が少なれば廣い面が使へる。落ち付いて畫けもする。AとKとがいゝ乗合自動車をかいた。

遊戯。しないと納まらない。そして、ポートルースをしなければ。これがみんな一等好きなやうです。

おべん當時、H「あつちのお室で食べるの」と自分で云つた。實習科の先生四人が歸られたので私と二人は職員室へ。食事中お客様がよその組の先生が御見えになつたらよしてしまつた。氣まり悪るがりさん。

S子、かけぶとんを作つて頂戴いな、と次々のお催促。小布を見つけて早くこさへませうと歸りに服地屋へ裁ちくずを買ひに行つたが、合憎のこと、後二三日待てといふ。二三日は小さい有り合せの間に合はさせときせまう。

五月二十七日（金）

今日は實習科の實習日で先生が四人。昨日汽車に赤青黄などのエナメルで色塗りして乾かしておいた。これに今朝

は所有主の名をはつきり書き込んでやる。面目の改つた汽車を暫くは持つて遊んで居たが、やがてうちおいて外に出る者は出る。こちらで一生懸命な程の反應はない。みんなのを繋ぎ合せて靜かな室内に残つて遊ぶ者もある。

今朝は何とした事か、いゝ子が改めて附添を追ふ。こちらで無理に抱き取つたものだから暫く泣き止まない。

早朝の「遊戯」。朝早く遊戯する時は氣持よく出来る。先にピアノの廻りに集つて唱歌。おへやはオルガン、ピアノの唱歌は聲もはづむ。シャボン玉を新しく教へる。スキップを二人組でさせたらY子が前でちやんと二人組になつて居るU子と手をひきたいといひ、U子は嫌だといふので二人が泣いた。思ひ通りにならないと泣く獨り子のY子、やさしくて氣弱くてよく泣くU子。他の先生がY子をなだめて「抱つこ」してゐた。

粘土、(汽車)出来る丈簡単な程度の汽車を私共で作つたのを机上に出しておき、「汽車を作りませう」と誘つた。さすがに男兒は工夫を加へてモデルよりも構造のより複雑なもの構想のいゝものが出来た。モデルにはないレールをつけた者四人。レールが圓く連ねてあつたのは玩具の汽車を

思ひ出してであらう。その子は最もいゝ汽車を造つてゐた。飛行機飛行船を作つたものもあり、今日もお園子だけの子もあり。みんな面白く何か作つてゐる所が目下の身上。

Hの食事は今日も職員室、私が時々中座しても給仕と二人でおいしさうにいたゞいて居る。此の分なら來週中に一緒にいたゞけさう。

庭の白ばらが見事に咲いた、〇〇が一人でそのあたりをブラ／＼して居る。私が近づくと、餘りばらがきれいだからお畫描きしようかと思つたの、といふ。靜かな男兒、幼稚園からお歸りして御勉強するのよ、と話して居た。

五月二十八日（土）

朝、室内。昨日海軍記念日といふので山組で作つた木の軍艦を欲しがるので、木片を集めて軍艦作り。先生のお手傳をする、鋸や鎚を始めていぢれるのがうれしさう。

私と女の子達は澤山芽を出した朝顔の苗を花壇の縁に移植。

M先生と四五人の男兒が庭に出たと思つたら藤の木にのぼつて、猿だ、豹だと言つて居る。

十時頃、お入りして、U先生から「三羽のひよこ」の話をおうかゞふ。これは今の時期に面白がられる話。U先生（實習生）生れて始めてのおはなしといふので昨日から緊張

してゐられたが、あれだけに話せたら大丈夫。

それからお歸り迄、みんなの大好きな本校行。途中小學校の庭が空いてゐたから、大きなお舟シーソー・杵の大きなジャングルジム・長い／＼おすべり、に大満足。廣い運動場でかけっこもする。存分に遊んだ。

天氣が良くて殆んど外遊びに送りましたから汽車の方は發展せずすみしました。まゝごとの諸道具だけは随分利用されました。あれで面白く遊べました。

お辨當を、幼稚園では食べないと頑張つてたHは、あちらの室」誰も居合はさない室」で食べる様になりました。月曜日には附添と二人で、私とその室から出なければ箸を取りませんでした。金曜日には私でも、代りに給仕でもよくなりました。もう皆と一緒にされるのも近い日と思ひます。非常にきまり悪がり屋さんなのです。

附添を追つて泣子も、私が抱きとると泣いてはゐてもちつと抱かれてゐます。前頃は先生を蹴つたり打つたりしたものです。そんな子供も一人くらゐになりました。今週になつたら大變いゝ子になつたといふ様な土・日曜を界にしての變り方もあります。つく／＼時期の問題だと思ひます